

### 11 食道癌の縦隔リンパ節転移により気道狭窄をきたした1症例

A case of airway obstruction secondary to esophageal cancer with lymph node metastasis

鳥取大学医学部卒後臨床研修センター 遠藤雅之

鳥取大学医学部分子制御内科学 倉井淳

症例は50歳，女性．咳嗽と呼吸困難を主訴に当院救急外来受診．入院時の胸部X線写真で上縦隔の腫瘤影と肺野に多発結節影を認め，胸部CTでは転移と考えられる多発結節影，縦隔リンパ節の腫大と著明な気管狭窄を認めた．以上より縦隔リンパ節転移による高度気管狭窄と診断し同日緊急入院となった．緊急気管切開術を施行し，スパイラルチューブを気管分岐部直上に挿入・留置．翌日より化学療法・放射線療法を施行したが，経過とともに縦隔リンパ節腫大による気管狭窄が著しくなり治療に難渋した．中枢気道の狭窄に対しては，原因である縦隔リンパ節に対する化学療法・放射線療法に加え気道狭窄に対する拡張術，ステント留置術が必要となる場合があることを考えさせられた症例であった．